

研究課題

脳外科病棟における誤嚥性肺炎予防の発症軽減に向けた取り組み、手順書の導入前後での比較検討

1. 研究の対象

院内で 2025 年 6 月以降に脳卒中を診断され、ADL 全介助で経管栄養投与している患者で本研究への参加と経過観察の実施について文書による同意が得られた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

肺炎患者の約 7 割が 75 歳以上の高齢者であり、高齢者の肺炎のうち 7 割以上が誤嚥性肺炎と言われています。誤嚥性肺炎を引き起こす嚥下障害の原因疾患は脳卒中が約 6 割を占めており、脳卒中の後遺症が誤嚥性肺炎の発生に大きく関係していることが示唆されています。嚥下障害に伴い、経管栄養を投与している患者も多くみられているのが現状です。当病棟でも脳卒中患者の誤嚥性肺炎の発症率についても気になる点があり、前年度の当病棟での脳卒中患者かつ経管栄養を投与し、誤嚥性肺炎を併発した患者の割合は 47%。また口腔ケアのアプローチ方法が病棟看護師の中で統一した看護ケアではないのが現状です。口腔内の指標になるものがなく、個人の主観で実施していることも課題であると考えます。先行研究では口腔ケアプロトコルを用いた口腔ケアによって、口腔衛生状態が改善していたことが OHAT により定量的に示されたとされており、脳卒中急性期において、摂食機能障害に対するプロトコルを使用することで、肺炎発症が減少することが報告されています。そこで当病棟で OHAT を導入、口腔ケアのアプローチを一定して提供し、適切な注入手順を実施することで肺炎の発症率はどの程度発症率を軽減することができるのかを明らかにすることを目的とし、研究を実施していきます。当病棟の看護師スタッフを対象に事前にアンケート調査を実施、また経管栄養の投与方法について実態調査を実施します。導入する手順書、OHAT 指標を病棟スタッフ全体へ指導を行い、事例介入研究を実施します。

研究期間：2025 年 6 月～2026 年 12 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報（カルテ）から、年齢、性別、疾患（脳卒中の好発部位・初発 or 再発）、誤嚥性肺炎の診断の有無、意識レベル、血液データ（CRP、WBC、Alb、TP）、体温、体重、BMI、薬剤（向精神薬、眠剤、制吐剤、PPI の有無）、排便の有無等の情報を収集します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究が正しく行われているかどうかを確かめるために、本研究の関係者が、当機関にあ

る本研究に参加されている患者さんのカルテ情報などを含めた本研究に関連したデータを直接閲覧する場合があります。その場合でも、本研究の関係者には守秘義務が課せられていますので、患者さんの個人情報外部に漏らされることはございません。

5. 研究組織

1 研究責任者

神鋼記念病院 4階東病棟・武崎 紗季

2 研究分担者

神鋼記念病院 4階東病棟・田中 瞳美

神鋼記念病院 4階東病棟・篠田 姫花

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究分担者：神鋼記念病院 4階東病棟・武崎 紗季、田中 瞳美、篠田 姫花

住所：〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町 1-4-47

電話番号：078-261-6711 4階東病棟（5041）